



平成28年度 横浜市立宮谷小学校 学校だより 12月号

みやがや

みんなで築こう 人権の世紀

～考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう 違いを認める心～

学校長 奈良輪 孝雄

国際連合は、世界人権宣言が採択された日の12月10日を「人権デー」と定めています。法務省では、平成28年度活動重点目標を『みんなで築こう人権の世紀』～考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう 違いを認め合う心～とし、啓発運動を展開しています。宮谷小学校でも、12月1日～9日を入権週間として様々な教育活動を行っていきます。本年度のねらいは、「思いやりのある行動についての話し合いを通して、自らの生活を振り返り、友達とより良いかわりをもとうとする子どもを育てる」としました。各学級で「思いやりのある行動」について考えます。そして12月5日に行われる「宮谷小学校子ども人権会議」で、「学校全体でもっと思いやりのある学校にするためにどうしたらよいか」について話し合います。これからの未来を創る子どもたちが、どのようなことを考えるのが楽しみです。校長として、毎週月曜日に朝会で子どもたちに語りかける時間があります。過日、人権週間を控え朝会でこのような話をしました。

「思いやり」っていい言葉ですね。先生は、毎日たくさんの思いやりに出会います。そのいくつかを紹介いたします。

- ・朝「おはようございます」と言うと、「おはようございます」と声をかけてくれます。
- ・朝会で皆さんは、校長先生の話を目・耳・心で聞いてくれます。
- ・大きな怪我をした子がいました。次の日「痛くありませんか。」とこえ声をかけると、「心配してくださりありがとうございます。」と返事をしてくれました。
- ・夕方、校門を出ると自転車で帰宅する子に会いました。その子は、先生に「さよなら。」ととても気持ちよいあいさつをしてくれました。先生は、「さようなら。気を付けて帰ってください。」と言ったら、「はい。ありがとうございます。」と返事をくれました。
- ・授業を見に行くと、鉛筆を落とした子がいました。近くの子が拾ってその子に返してあげました。拾ってもらった子は、「ありがとう。」と応えていました。
- ・体育のリレーで転んだ子がいました、立ち上がって最後まで走っていました。走り終わった後、たくさんの友達がその子を囲んで声をかけていました。転んだ子は痛いにもかかわらずなぜか嬉しそうでした。

このことを見たり聞いたりして、先生は、「がまくんとかえるくん」のように、「しあわせな気持ち」になります。みんなすばらしいです。先生も皆さんをまねしたいと思います。先生は、子どもの頃母親に「自分がやられて嫌なことは、人にはしないように。」「どんなことでもいいから、人の役に立つ人になるんだよ。」とも教えられました。難しいことです。簡単なことではありません。人の喜びを自分の喜びと感じる。人の痛みを自分の痛みのように感じる。また、人の喜びと一緒に喜び、人の悲しみを一緒に悲しむ。それが「人権の世紀」につながると先生は思います。

宮谷小では、いじめ問題等の取組を徹底し、全ての子どもたちが、「わたしは大切な人間なんだ」と思うことができる教育活動を推進し、「思いやり」のあふれた学校にしていきます。今月もよろしく願い申し上げます。

世界人権宣言 谷川俊太郎 訳

第1条 みんな仲間だ

わたしたちはみな、生まれながらにして自由です。一人ひとりがかげがえのない人間であり、その値打も同じです。だからたがいによく考え、助け合わねばなりません。

